



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月13日

東

上場会社名 恵和株式会社 上場取引所
 コード番号 4251 URL <https://www.keiwa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長村 恵式
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部 (氏名) 吉岡 佑樹 (TEL) 03(5643)3783
 本部長代理兼財務部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	7,789	9.1	927	72.3	1,066	104.6	777	71.5
2020年12月期第2四半期	7,137	△3.7	538	2.8	521	0.6	453	20.9

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 958百万円(161.6%) 2020年12月期第2四半期 366百万円(△0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	88.33	88.23
2020年12月期第2四半期	58.75	56.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	19,064	8,068	42.3
2020年12月期	17,655	7,213	40.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 8,068百万円 2020年12月期 7,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	13.50	13.50
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2021年12月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 特別配当5円00銭

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,886	7.8	2,008	82.1	2,141	115.0	1,464	97.7	166.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	8,807,935株	2020年12月期	8,800,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	265株	2020年12月期	243株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	8,803,971株	2020年12月期2Q	7,717,354株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き経済・社会活動が制限される厳しい状況が続いたほか、金融市場の変動の影響に留意する必要がある等、先行き不透明な状況が続きました。このような経済状況におきまして、当社グループは、テレワーク、リモートラーニング関連の光学製品等の高付加価値製品の販売促進活動を世界各地の拠点で強化するとともに、生産性の向上にも努めました。

また、グローバル社会のサステナビリティに貢献するために、健康経営の促進、及び働き方改革や教育体系の再構築等の実施による、ダイバーシティ&インクルージョンの推進により、経営資源の強化を図ってまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は7,789百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は927百万円（前年同期比72.3%増）、経常利益は1,066百万円（前年同期比104.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は777百万円（前年同期比71.5%増）となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[光学シート事業]

小型液晶ディスプレイ用の光拡散フィルムは、スマートフォンの一部機種でのOLED化などから受注が減少しましたが、引き続きテレワーク需要が旺盛なノートPCやタブレット向け等中型液晶ディスプレイ用の光拡散フィルムや車載向けの受注が増加しました。また、直下型ミニLED液晶ディスプレイの好調を受け、複合拡散板の販売が増加しております。

その結果、売上高は5,487百万円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益は1,807百万円（前年同期比36.8%増）となりました。

[機能製品事業]

既存のビジネスは、高付加価値型の製鉄・非鉄金属向け防錆包装紙等が需要回復により受注増となったほか、不採算品目の終売をすすめました。一方でクリーンエネルギー資材を中心とする新たなフィルムビジネスに注力したことで、機能製品事業の利益率は改善しつつあります。また、引き続き生産体制のリノベーションを実施しております。

その結果、売上高は2,301百万円（前年同期比8.5%減）、セグメント利益は142百万円（前年同期は3百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産合計は、現金及び預金が123百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が600百万円、商品及び製品が167百万円、有形固定資産が788百万円それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,409百万円増加し、19,064百万円となりました。

(負債の部)

負債合計は、支払手形及び買掛金が107百万円減少したものの、未払金が313百万円、長期借入金が453百万円それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ555百万円増加し、10,996百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、剰余金の配当により118百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により777百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ854百万円増加し、8,068百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、2021年2月12日に公表いたしました内容を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,993,627	3,870,098
受取手形及び売掛金	3,322,890	3,923,438
商品及び製品	1,163,840	1,331,030
原材料及び貯蔵品	390,988	476,364
その他	607,761	458,193
貸倒引当金	△414	△408
流動資産合計	9,478,693	10,058,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,647,194	3,803,504
機械装置及び運搬具（純額）	2,002,272	1,834,224
土地	539,179	539,179
建設仮勘定	911,637	1,684,630
その他（純額）	423,122	450,645
有形固定資産合計	7,523,406	8,312,184
無形固定資産	62,221	60,959
投資その他の資産		
投資有価証券	375,466	439,868
その他	272,876	254,318
貸倒引当金	△57,589	△61,436
投資その他の資産合計	590,753	632,749
固定資産合計	8,176,380	9,005,893
資産合計	17,655,074	19,064,609

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,913,879	2,806,413
1年内返済予定の長期借入金	1,292,975	1,310,522
未払金	514,371	828,351
未払法人税等	89,585	243,306
製品保証引当金	48,145	96,638
営業外電子記録債務	907,414	827,804
その他	399,838	168,679
流動負債合計	6,166,210	6,281,716
固定負債		
長期借入金	3,901,534	4,355,009
退職給付に係る負債	274,351	259,657
資産除去債務	83,863	83,883
その他	15,338	16,322
固定負債合計	4,275,087	4,714,872
負債合計	10,441,297	10,996,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,700,880	1,708,359
資本剰余金	1,469,480	1,476,959
利益剰余金	3,873,336	4,532,252
自己株式	△379	△448
株主資本合計	7,043,317	7,717,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,672	92,667
繰延ヘッジ損益	△1,186	△6,667
為替換算調整勘定	125,194	273,361
退職給付に係る調整累計額	△9,221	△8,463
その他の包括利益累計額合計	170,459	350,897
純資産合計	7,213,776	8,068,021
負債純資産合計	17,655,074	19,064,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	7,137,814	7,789,008
売上原価	5,177,786	5,107,278
売上総利益	1,960,028	2,681,729
販売費及び一般管理費	1,421,484	1,753,730
営業利益	538,543	927,998
営業外収益		
受取利息	867	516
受取配当金	2,455	2,569
受取保険金	2,307	—
助成金収入	10,845	10,065
売電収入	12,732	12,083
為替差益	15,035	136,573
その他	4,678	7,808
営業外収益合計	48,922	169,616
営業外費用		
支払利息	24,286	24,183
売電費用	7,207	6,392
手形売却損	9,036	—
支払補償費	25,021	250
その他	897	598
営業外費用合計	66,449	31,423
経常利益	521,016	1,066,191
特別利益		
固定資産売却益	168	—
補償金収入	50,000	—
特別利益合計	50,168	—
特別損失		
固定資産売却損	122	—
固定資産除却損	418	11,646
特別損失合計	540	11,646
税金等調整前四半期純利益	570,644	1,054,544
法人税、住民税及び事業税	118,692	243,011
法人税等調整額	△1,472	33,813
法人税等合計	117,220	276,824
四半期純利益	453,424	777,719
親会社株主に帰属する四半期純利益	453,424	777,719

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	453,424	777,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57,417	36,994
繰延ヘッジ損益	607	△5,481
為替換算調整勘定	△31,048	148,167
退職給付に係る調整額	695	758
その他の包括利益合計	△87,163	180,438
四半期包括利益	366,260	958,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,260	958,158
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	570,644	1,054,544
減価償却費	500,896	564,122
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,136	△609
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△8,265	48,493
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,396	△12,857
為替差損益(△は益)	△34,825	△64,644
受取保険金	△2,307	—
補償金収入	△50,000	—
受取利息及び受取配当金	△3,323	△3,085
支払利息	24,286	24,183
売上債権の増減額(△は増加)	364,036	△570,044
たな卸資産の増減額(△は増加)	△159,146	△234,821
仕入債務の増減額(△は減少)	△499,462	△74,814
未払金の増減額(△は減少)	△73,108	59,331
その他	52,642	196,782
小計	686,598	986,580
利息及び配当金の受取額	3,317	3,131
利息の支払額	△24,584	△24,574
保険金の受取額	2,307	—
補償金の受取額	50,000	—
法人税等の支払額	△84,930	△89,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	632,708	875,668
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	—	4,372
投資有価証券の取得による支出	△5,750	△5,974
無形固定資産の取得による支出	△11,565	△11,242
有形固定資産の売却による収入	3,245	—
有形固定資産の取得による支出	△718,970	△1,415,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△733,040	△1,427,995
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△696,478	△728,978
配当金の支払額	△100,096	△118,294
その他	△19,853	△40,251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△416,428	312,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,346	108,084
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△492,413	△131,766
現金及び現金同等物の期首残高	2,646,637	3,832,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,154,224	3,701,040

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、当第1四半期連結会計期間において、生産集約に伴う工場移転統合を決定したことにより、移転統合後に利用見込みのない固定資産について残存使用見込期間まで耐用年数を短縮しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	光学シート事業	機能製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,622,780	2,515,033	7,137,814	—	7,137,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,622,780	2,515,033	7,137,814	—	7,137,814
セグメント利益	1,321,124	△3,770	1,317,353	△778,810	538,543

(注) 1 セグメント利益の「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	光学シート事業	機能製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,487,564	2,301,444	7,789,008	—	7,789,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,487,564	2,301,444	7,789,008	—	7,789,008
セグメント利益	1,807,918	142,324	1,950,243	△1,022,244	927,998

(注) 1 セグメント利益の「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2021年7月1日開催の取締役会において、下記のとおり生産集約に伴う工場移転統合を決定いたしました。

1. 工場移転統合の理由

当社は、2021年2月12日開催の取締役会の決議により、SATC K-Site (旧九州工場) での生産品目を滋賀アドバンステクノセンター (SATC) に移管する等、機能製品分野の生産体制再構築に取り組むことで市場環境の変化に対応してまいりましたが、引き続き、SATC T-Site (旧東京工場) での生産品目についてもSATCに移管することといたしました。

移管目的は、第1に、けいはんな学研都市に所在する研究開発拠点 (VCC) と近接しているSATCに高付加価値製品の生産を集中して技術開発力を高めることにより、新規開発型生産体制へシフトすること。第2に、ロジスティクスの改善によるJIT対応の強化。第3に、集中生産体制とロボット生産システムによる省力化を行い、将来の労働力不足に備えることです。

2. 実施時期

2022年3月末 (予定)

3. 業績に与える影響

今後、撤去費用として2021年12月期に50,000千円を見込んでいたほか、移設費用等の発生が見込まれますが、影響については現在精査中であります。